

RYOBI

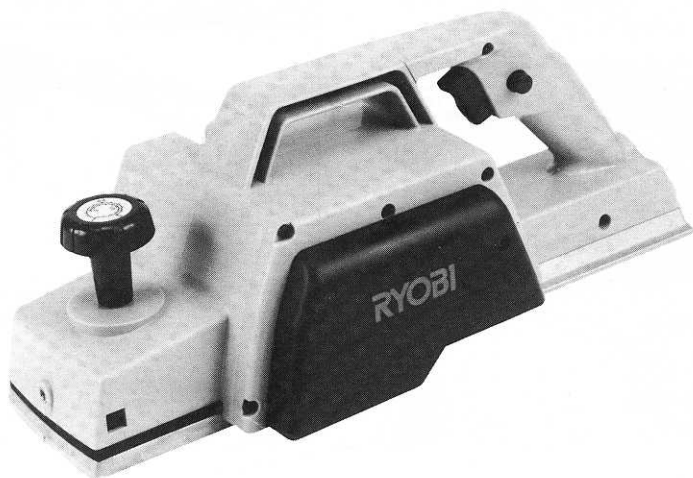
電気カンナ

L-350

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

6982117 (M)



●特 長

- 操作しやすいハンドル形状と十分な長さの定盤で安定した作業ができます。
- 素早く、正確に刃先の調節ができる独自の刃先調節方式です。
- 安全な二重絶縁構造で安心してご使用いただけます。

●仕 様

- ・ 電圧…………… 100V
- ・ 電流…………… 11A
- ・ 消費電力…………… 1,050W
- ・ 無負荷回転数…………… 16,000R. P. M.
- ・ 重量…………… 4.5kg
- ・ 刃巾…………… 110mm
- ・ 切込み深さ…………… 0～2mm

回二重絶縁

●通常付属品

- 刃高調節定規、ボックススパナ
カッター手研保持器

●特別付属品（別販売）

- サイドプレート
- ダストカバーB
- 集じん用ジョイント

●用 途

- 木材の平面削り、面取り

●仕様

- ・電圧…………… 100V
- ・電流…………… 11A
- ・消費電力…………… 1,050W
- ・無負荷回転数…………… 16,000R. P. M.
- ・重量…………… 4.5kg
- ・刃巾…………… 110mm
- ・切込み深さ…………… 0～2mm

□二重絶縁

●通常付属品

- 刃高調節定規、ボックススパナ
カッター手研保持器

●特別付属品（別販売）

- サイドプレート
- ダストカバーB
- 集じん用ジョイント

●用途

- 木材の平面削り、面取り

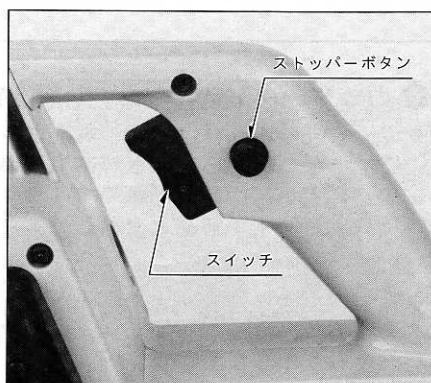
●ご使用に当たりますの注意事項

本機を使用する前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途には、お使いにならないで下さい。

- 被削材に釘などの異物がないことを確認して下さい。異物があればカンナ刃を破損し、仕上面は、きたなくなります。
- さし込みプラグを電源にさし込む前にカンナ刃は使用説明に従い、正しく取り付けられ、締付ボルトはしっかりと締付けられているか確認して下さい。
- カンナ刃の取付け取外しなどカンナ刃の取扱い時には手を切る恐れがありますので刃先に十分注意して下さい。
- 切屑排出口には絶対指などを入れないよう注意して下さい。カンナ刃が高速回転していますので危険です。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますとモーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足となります。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶついたりした場合は異状の有無を確認した後、ご使用下さい。
- 運転中はカンナ刃、及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。カンナ刃は常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工を始めて下さい。
- 湿った場所、ぬれた場所での使用は避けて下さい。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
- 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
- 作業時の服装は身軽なもので行って下さい。
- 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は、使用後はすぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。
- さし込みプラグを電源にさし込む前にスイッチが切れていることを確認し、使用后、及び停電の際には、さし込みプラグを抜くように心掛けて下さい。
- 整備点検、部品交換の際は必ずスイッチが切れていることを確認し、さし込みプラグを電源より外して下さい。
- 運転中、機械の調子が悪かったり、異状に気付いた時には、直ちに使用を中止して下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただく為には作業前の機械の点検と定期点検が必要です。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。

●スイッチ

- スイッチ操作はスイッチを引くと入り、離すと切れます。またスイッチを引いた状態で握り部のストッパーボタンを押すと、引金を離してもスイッチは入ったままになります。この場合、再度スイッチを引くと、ストッパーボタンがはずれスイッチは切れます。連続使用の場合はこのストッパーボタンをご利用下さい。



●切込み深さの調節 (削り深さ)

- 切込み深さの調節は、切込み深さ調節ツマミを回して行ないます。
- 荒削りで深く削り、仕上削りでは浅く削りますと、能率的で美しい加工面が得られます。

※本機切込み深さは0～2mmです。
2mm以上の切込みはしないで下さい。

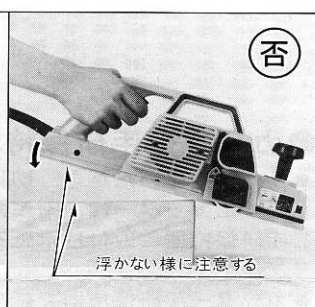
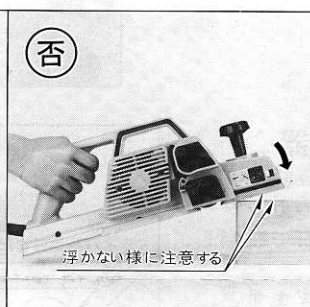
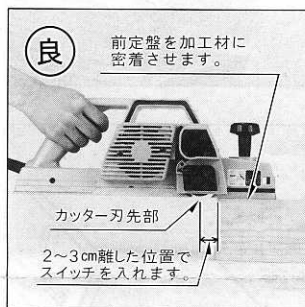


●平面削り

- カッター刃先を加工材より2～3センチ離れた位置に前定盤を当てスイッチを入れます。
- 一定の回転になりましたら前定盤を加工材に水平に密着させて前に押し進めて削ります。

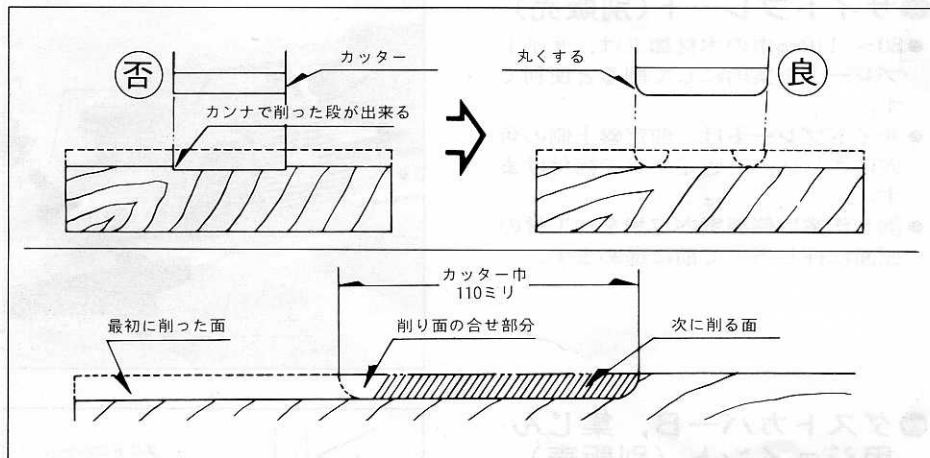
《注》削り始めと削り終りの注意

- 削り始めと削り終りの時にカンナが傾くと木材の端を削りますから注意して下さい。



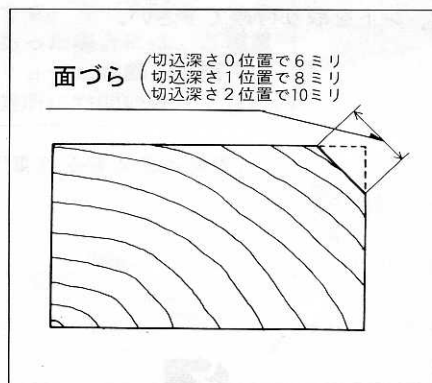
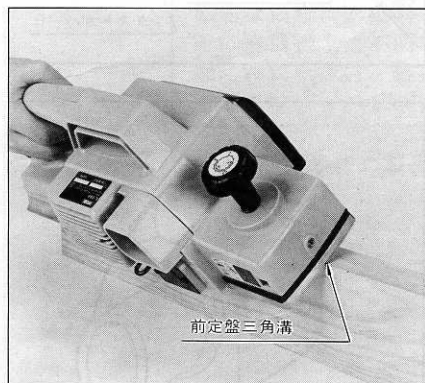
●巾広木材の加工

- 1回の削巾は最大 110mmですが、これ以上の巾の広い木材を削る場合は図のようにカンナの刃の両端角を丸くします。これによって最初に削った面との合せ部分に段がつかず、滑らかに仕上がります。



●面取り加工

- 面取り加工は、前定盤三角溝を利用して行ないます。面づら（面取り巾）寸法は切込み深さ調節ツマミを回して行ないます。目盛板0位置で6mm、目盛板1位置で8mm、目盛板2位置で10mmです。
- 加工材は木材の角に前定盤三角溝を合せて削ります。

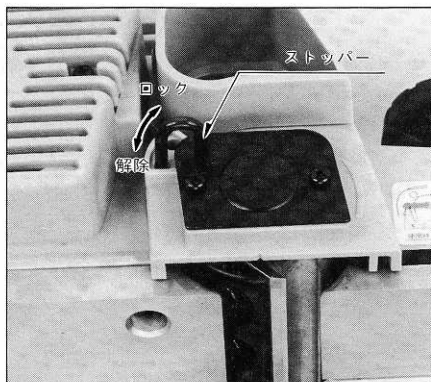
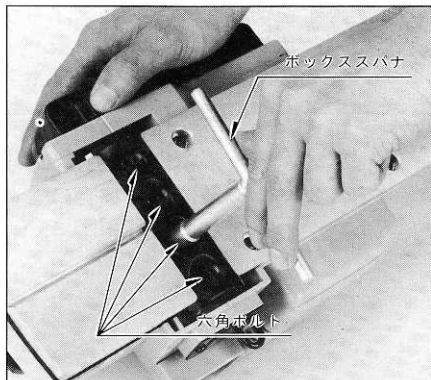


●カッターの交換、刃先調節

- カッターの切れ味は木材の質及びご使用になった切込み深さ等により異なりますが、切れ味が悪くなりましたら砥ぎ直すか新品と交換して下さい。
- 付属のボックススパナで六角ボルトをゆるめ、カッター押え板、カッターを取り出します。
- カッターブロックの板バネでカッターを押える様にしてカッターを取付け、カッター押え板を六角ボルトで仮締めします。
- ストッパーでカッターブロックを固定し、刃高調節定規で後定盤にカッターの高さを合わせます。
- ストッパーを解除し、六角ボルトをしっかりと締付けます。
- 同様にして2枚のカッターの刃先調節を行います。

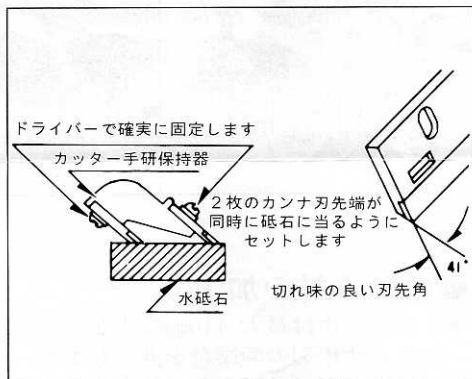
※刃先調節後は、ストッパーが解除位置になっていること、及び六角ボルトがしっかりと締付けられていることを再度確認して下さい。

※カッターの交換は、2枚同時に行なって下さい。



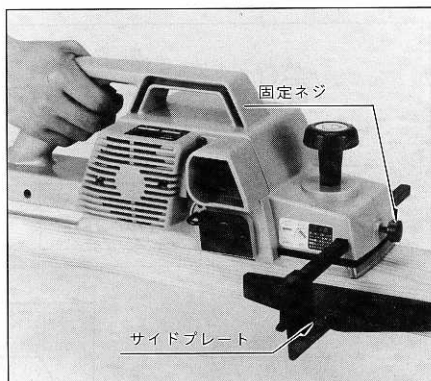
●カッター手研保持器

- 長くご愛用いただき、切れ味が悪くなったカッターは、附属のカッター手研保持器に取付け水砥石で研磨し、ご使用下さい。
- カッター手研保持器で砥ぎますと、2枚のカッターが一度で砥ぎ上げられ、正しい刃先角に仕上がって、良い切れ味が得られます。



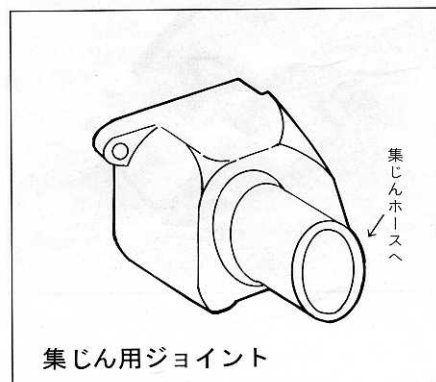
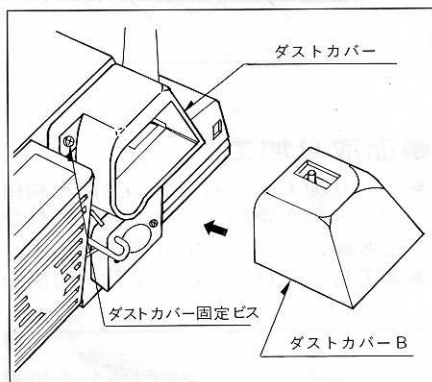
●サイドプレート(別販売)

- 80～110mm巾の木材加工は、サイドプレートを案内にして削ると便利です。
- サイドプレートは、前定盤上側の角穴にさし込み、固定ネジで締付けます。
- 削り作業は側面案内定規を加工材の側面に押し当てて前に進めます。



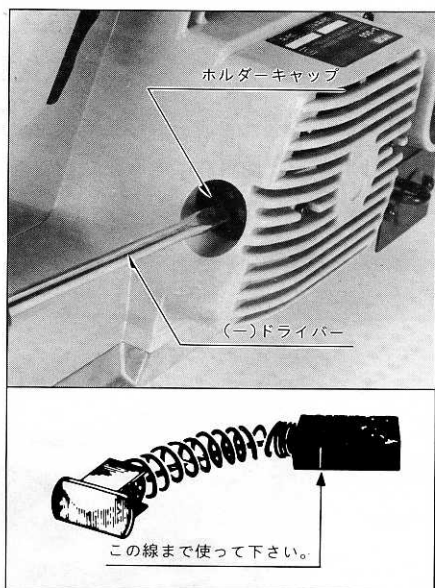
●ダストカバーB, 集じん用ジョイント(別販売)

- ダストカバーBをご使用になりますと、カナナ屑が下向きに出ますので、飛び散りません。
- ダストカバーBは、本体ダストカバーにさし込むだけで取り付けられます。
- 集じん機をご使用になる場合は、ダストカバーを外し、集じん用ジョイントを取り付けて下さい。



●保守と点検

- 作業が終了したら各部の切削粉をよく除き、湿気の無い所に保管して下さい。
- モーター部には、水・油等が付かぬように注意して下さい。
- カーボンブラシの全長が $\frac{1}{3}$ 以下即ちカーボンブラシの横の線まで短くなりましたら、新しいカーボンブラシと交換して下さい。
あまり短いカーボンブラシをそのまま使っておりますと、モーターを焼くことがあります。
- カーボンブラシは、マイナスドライバーでホルダーキャップを外すと簡単に取り出せます。カーボンブラシの交換は2個同時に交換して下さい。



この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、
厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、
その他取扱にご不明な点があった場合には、ご遠慮
なくお買上げ店、最寄りのリョービ電動工具販売店、
もしくはリョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。

※改良のため製品仕様の変わる事があります。

発売元



リョービ販売 株式会社



リョービ 株式会社